

県下の交通事故 (昭和41年中)

区分	事故件数	死者	傷者
40年	6,162	135	4,492
41年	6,861	161	4,756
比較	増 699 (11.3%)	増 26 (19.3%)	増 264 (5.9%)



第3号

発行所

甲府市丸の内1丁目6-1
山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 25171 内線335・338

道路交通法改正される

5台以上に運転管理者

精神病等の診断書も必要



アツ危い そのスピードが死を招く

改正の理由
 道路交通法施行規則の一部を改正する総理府令(以下「改正規則」という。)が、さる一月十日総理府令第一号として公布され、来る四月一日から施行されることになりましたが、その改正の理由、改正の要点等は次のとおりです。

改正の理由

改正の理由
 自動車等の安全な運転を確保するため、安全運転管理者の選任に関する規定を改めるとともに、運転免許制度の合理化を図るため、運転免許申請書の添付書類として新たに、精神科等医師の診断書を加えること、運転免許試験の技能試験の内容を一部改めることおよび指定自動車教習所における技能教習の基準を改める等、関係規定を整備する必要があるからである。

改正の要点

改正の要点
 一、安全運転管理者を置くに当たっては、一〇台以上の自動車等を有するところから五台以上のところへ拡大された(第九條の二の改正)
 二、自動車の安全な運転を確保するに当たって、運転の管理の適否に大きな影響を及ぼすため、従来、一〇台以上の自動車等を有する会社、事業所等に安全運転管理者を置く責任を明瞭にするため、安全運転管理者を置くに当たっては、最近の交通事故の実情からして、安全運転に関する管理を一段と強化する必要があること、また、安全運転管理者を置くに当たっては、一〇台以上の自動車等を有するところから五台以上の自動車等を有するところへ拡大された。

42年スローガン

(最優秀作)

(運転車向け)

アツ危い そのスピードが死を招く

(歩行者向け)

一秒待つ 心のゆとりが身を守る

(子供向け)

とび出すな 車は急に止まれない

仮免許の課題強化

一、カタビラおよび車輪を有する大型特殊自動車(いわゆる半装軌車)に係る仮免許の技能試験の課題が改められた(第二四條第一項の表の改正)
 二、仮免許の技能試験の課題が改められた(第二四條第一項の表の改正)
 三、仮免許の技能試験の課題が改められた(第二四條第一項の表の改正)

路上教習を法制化

一、指定自動車教習所における路上教習が制度化されることにより、技能教習の時間が増えることとなる(第三三條の改正)
 二、指定自動車教習所における路上教習が制度化されることにより、技能教習の時間が増えることとなる(第三三條の改正)

来、運転免許の欠格者であり、受験資格もないに精神科等医師の診断書が提出されなければ、運転免許が更新され、または運転免許が更新される等の事案がないでなくなった。このように、運転免許の更新に当たっては、都道府県知事の指定する精神科等医師の診断書が提出されなければならないこととなった。

従来、運転免許を受けていない者が、運転免許を受けるに当たっては、小型特殊自動車(いわゆるカタビラ)を有する大型特殊自動車(いわゆる半装軌車)を除く(いわゆる仮免許)のみに限定された。このうち、仮免許を受ける者は、一〇台以上の自動車等を有するところから五台以上のところへ拡大された(第九條の二の改正)。また、仮免許を受ける者は、最近の交通事故の実情からして、安全運転に関する管理を一段と強化する必要があること、また、安全運転管理者を置くに当たっては、一〇台以上の自動車等を有するところから五台以上の自動車等を有するところへ拡大された。

な運営をすることが望ましいというところである。運転免許を受けている者が、運転免許を受けるに当たっては、小型特殊自動車(いわゆるカタビラ)を有する大型特殊自動車(いわゆる半装軌車)を除く(いわゆる仮免許)のみに限定された。このうち、仮免許を受ける者は、一〇台以上の自動車等を有するところから五台以上のところへ拡大された(第九條の二の改正)。また、仮免許を受ける者は、最近の交通事故の実情からして、安全運転に関する管理を一段と強化する必要があること、また、安全運転管理者を置くに当たっては、一〇台以上の自動車等を有するところから五台以上の自動車等を有するところへ拡大された。

よび発達を促す。一、指定自動車教習所における路上教習が制度化されることにより、技能教習の時間が増えることとなる(第三三條の改正)。二、指定自動車教習所における路上教習が制度化されることにより、技能教習の時間が増えることとなる(第三三條の改正)。三、指定自動車教習所における路上教習が制度化されることにより、技能教習の時間が増えることとなる(第三三條の改正)。



おこたを述べられる常陸宮殿下

常陸宮殿下のおこた

最近における自動車のめざましい発達と、道路交通網の伸張により国民生活は多大の利便を受けています。一面、一面の交通事情がよくなるに連れて、交通安全事故による悲惨な出来事は日ごと全国各地に発生し、昨年は遂に史上かつてない多数の犠牲者を出したことはまことに痛ましい限りであります。

このような交通安全事故をなくし平和な交通秩序をうちたてることは、今や国民すべてが心から願っています。交通安全の徹底は一刻もゆるがせに出来ぬことと痛感いたします。

全日本交通安全協会が、ここに第七回交通安全全国国民総ぐるみ運動中央大会を開いて、新しい決意と構想のもとに、交通安全運動をより強力におし進めようとするに当り、全国から集まられた代表者、その代表者の首脳を国民の一人ひとりに浸透させるようたゆまぬ努力をなすこと、交通安全の徹底を目的とする国民総ぐるみ運動の目的を充分達成させるよう切望してやみませぬ。

国民総ぐるみ交通安全

安全への誓い新たに

実践者推進者になろう

第7回中央大会

財団法人全日本交通安全協会は、総理府、警察庁、文部、運輸、建設、自治各省、全国交通安全会議の後援により、一月十九、二十日の二日間、「第七回交通安全全国国民総ぐるみ運動中央大会」を開催した。

この大会には全国各地から、交通安全協会を各じら、交通安全宣言都市、交通安全事業者、運転者、地域婦人団体、学校交通安全自治班、交通事故被害者、遺族等の代表者等約二千名が参加した。

宣言

われわれは、悲惨でいたましい交通事故の増加を絶対に防止しようという決意のもとに、昭和三十六年以来、毎年、年頭この中央大会を開催して、交通安全運動への国民総ぐるみの気運を盛り上げ、交通安全運動の推進に努力してきた。

しかしながら、昨年の交通事故による犠牲者は、この願ひもむなく、死・傷者数ともわが国史上最高という悲しい記録となつてしまった。

このようなきびしい交通情勢を考へるとき、今年こそは交通事故絶滅のため、国民総ぐるみとなつていっそう強力かつねばり強く、地域・職域はもとろん家庭のなかにも交通安全防止活動を浸透させ、徹底させなければならぬ。

われわれは、この第七回交通安全全国国民総ぐるみ運動中央大会にあたり、決意を新たに、交通安全の実践者、推進者となることを各参加者一同の決意をもって誓うものである。

昭和四十二年一月二十日

第七回交通安全全国国民総ぐるみ運動中央大会

決議

われわれは本大会開催の趣旨のもとに、昨日、それぞれの部会にわかれて、今年中国国民総ぐるみ実施する交通安全運動の具体策について討議をかわき、さきほど各部会議長より報告された実践事項を決定した。このなかには、政府当局の強力な施策にまつものも少なくないが、われわれ自身としても、交通安全運動において次の各項を実践することを誓うものである。

- 一、交通安全年間スローガンをその立場で身をもって実践し、それを通じて積極的な交通安全思想の普及・啓蒙に努めること。
- 二、交通安全の平和な社会の実現をめざし、交通安全の推進者となること。
- 三、交通安全の推進者となることは、歩行者保護に徹し、交通安全を運ぶときは「安全運転」を励行すること。
- 四、道を歩くときは、「安全な正しい歩き方」を励行するとともに、老人、幼児や身体の不自由な人などの保護に努めること。
- 五、事業所などにおいては、交通安全事故防止を最優先とした安全な運行の実践に努めること。

昭和四十二年一月二十日

第七回交通安全全国国民総ぐるみ運動中央大会

このあと、常陸宮殿下から別項のごあいさつがあり、つづいて佐藤内閣総理大臣などの祝辞、海外友誼団体（アメリカ合衆国大統領領交通安全委員会、フランス国バリー国際交通安全協会、イギリス王室事故防止協会等）のメッセージがあり、午後三時半盛会の裡に大会の幕を閉じた。

「一億を守れ二億の注意の目」

長坂自動車教習所長 興石保之

年間スローガン

佳作

◎運転者向けのもの
安全運転 今こそ一億総ぐるみに 徐行と停車をプレセント 酒が運転する車は 人と車をつくる安全は 人と車をつくる わりに減光を あいさつがまず注意 なたた道でも

◎歩行者向けのもの
踏切た 停止した左右確認 一度一度 車の点検心の整備 こわいのは なれすぎ積みすぎ 飛び出し 飛び出し スピードを ききこい合ふより ゆずり合ふ 飛ぶすまい あなた一人の道でない 小さなゆだん 大事故も 小さなゆだんと違反から 惜しむなブレーキ 頼るなハンドル ハイ注意 あの子この子

◎子ども向けのもの
踏切た 停止した左右確認 一度一度 車の点検心の整備 こわいのは なれすぎ積みすぎ 飛び出し 飛び出し スピードを ききこい合ふより ゆずり合ふ 飛ぶすまい あなた一人の道でない 小さなゆだん 大事故も 小さなゆだんと違反から 惜しむなブレーキ 頼るなハンドル ハイ注意 あの子この子

会員の声

私の提言

自転車の無灯火が相変らずたくさん目につきましますが、特に中学生、高校生に多く見られます。本人は案外平気なようですが、自動車に乗って見ると、全くハラハラさせられます。

自動車にはヘッドライトがついているのだから、何も彼も全部完全に点灯していると思つていいので、危険なことです。実際は必ずしもそうではないので、対向車がある場合には、そのライトにけん感されて、前方がよく見えなこともありますし、

命を守る前照燈と赤い反射器

あつた赤いガラス玉のよなものは、ただのアクセサリーではありませぬ。後から走って来る車に、自分の位置を知らせる貴重なものです。特に、黒い服を着ている生徒などに、まさしく命を救うことができます。

家庭でも学校でも、自転車には無灯火で乗らないことと、赤い反射器やスコッチライトの取付けを、ぜひお願いしたいと思います。

甲府交通安全協会 西青沼支部長 河西定男



くまのすくま、すくまのくま

大阪市において開かれた
第六回眼と道路交通研究

ヘルメットがぶるわ

視神経管骨折はゼロ

会“で関東労災病院深道医学博士の発表したところ

正しくサイズに合わせる

よく、視神経管骨折は顔面、頭部に外傷を受けた際、起りやすく、視神経管が骨折すると視力障害で視野に歪みが生じ、最悪の場合は失明するおそれがある。

このような症状は単に眼底所見では容易に発見することができず、受傷直後の眼底所見は全く正常であるのが通例であるため、医師といえどもこれに気づかずその処置をおろそかにすることがある。

アゴひもはキチンと

正しいかぶり方

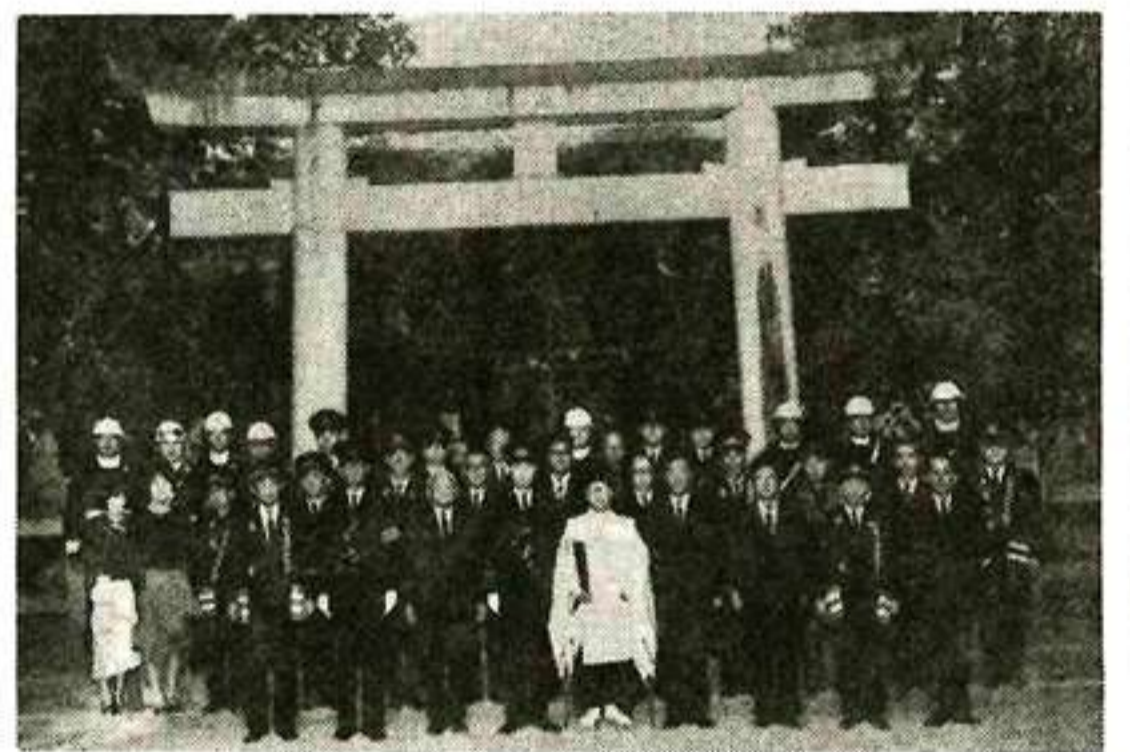
安全帽の大きさはサイズに合ったものをかぶること。安定性を欠くと役に立たない。特に他人のものを借りてかぶるとき

減点法でコンクール

トラック協会岐阜支部

するものであるから暑いからといって、タレオオIを取ってヘルメットをかぶるのは感心しない。

て、無事故宣言をする。全員(三一社、三〇〇人)が参加して、無事故宣言式を実施する。



誓いも新たに交通安全祈願祭

恒例による山梨県交通安全協会の交通安全祈願祭は、一月九日武田神社において行なわれました。

けん引免許を受ける方へ

永い間ご不田をかりしておりましたが、今回けん引自動車免許を受けました。

過去四間に調べた外傷による視神経管骨折のうち、X線写真で骨折を認められた八例中、最も多くあったのは交通事故によるもので、全体の六〇%を占めておりそのうち自動二輪車の乗車人が六〇%であった。

山梨県トラック協会岐阜支部(会長、支部長とも中山太郎氏)では、交通事故を未然に防止する運動として

探点方法は、運転者一人につき一〇〇点の持点を与え、次のとおり減点する。

飲酒運転二〇点、その他二点、(同一事故違反であっても、重複するものは合算しない)



とび出す車は急に止まれない

交通教室

事故の責任は、交通事故ほとんど悲惨なものはない。なかでも被害者が、交通の危険について認識や判断がしゅうぶんにできないこと

危い！ 幼児の路上遊び

このようなことばの事故には、おとなの不注意とか不親切、怠慢といった、おとなの側の責任が多かれ少なかれつきまとっている。

人が「こんなところで遊ぶのは危い」と思いつつ、ひとりの不注意で、事故が起きてしまうこと、この事故の広がり

は、教習を受ける者に対する教習時間として「基本操作」は一回三十分、一日二回以下、応用走行については一回三十分以上六十分以下で一日二回以下と定められている。